

11 気候変動による影響への適応について

（1）問題と感ずる気候変動による影響

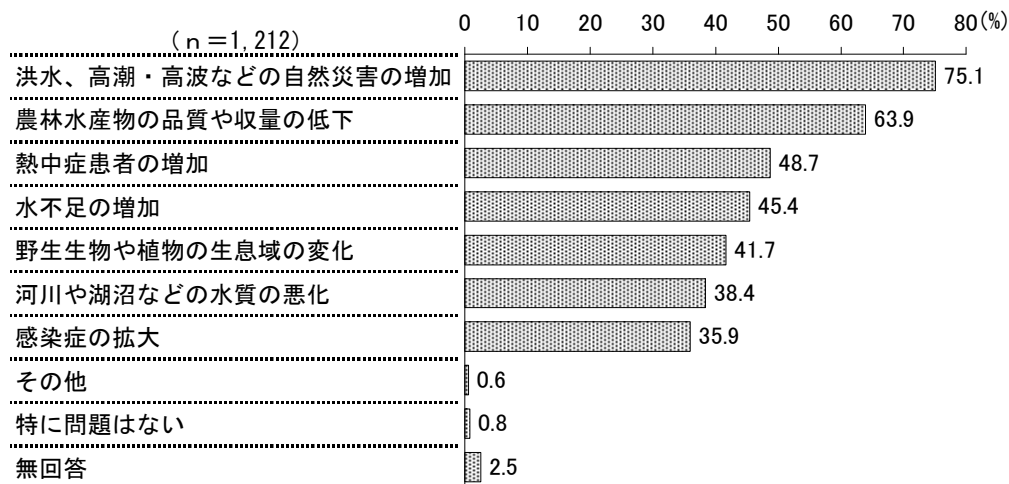
◇「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」が7割台半ば、「農作物の品質や収量の低下」が6割台半ば

世界の平均気温は上昇し続けており、地球温暖化の影響が既に現れ始めています。地球温暖化の主な原因とされている、二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を、今後できる限り抑制したとしても、平均気温は上昇し、今世紀末に向けて地球温暖化やその他の気候の変動（以下「気候変動」という。）の、影響のリスクが高くなると予測されています。

そのため、気候変動による影響への対応が必要となることから、今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問42 気候変動（気温の上昇、大雨の頻度の増加など）により、将来にわたって自然や社会に様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、気候変動によるどのような影響が問題だと感じますか。（〇はいくつでも）

＜図表11－1＞問題と感ずる気候変動による影響（複数回答）



気候変動によるどのような影響が問題だと感ずるか聞いたところ、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」（75.1%）が7割台半ばで最も高く、以下、「農林水産物の品質や収量の低下」（63.9%）、「熱中症患者の増加」（48.7%）、「水不足の増加」（45.4%）が続く。（図表11－1）

【地域別】

地域別にみると、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」は“葛南地域”（80.2%）が8割で高くなっている。

「農林水産物の品質や収量の低下」は“山武地域”（79.5%）が約8割で高くなっている。

「熱中症患者の増加」は“葛南地域”（54.9%）が5割台半ばで高くなっている。

「水不足の増加」は“葛南地域”（52.9%）が5割を超えて高くなっている。（図表11－2）

【性・年代別】

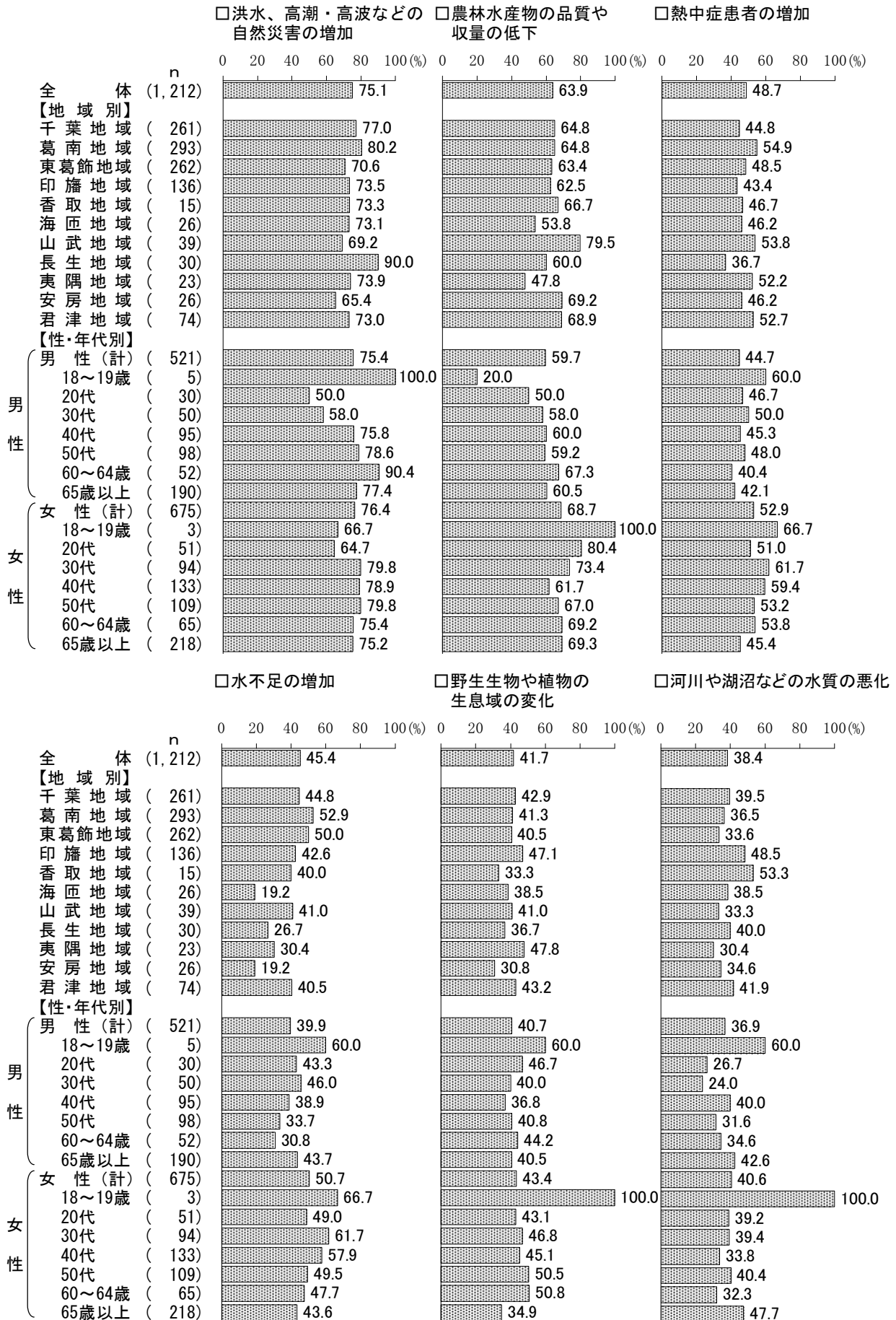
性・年代別にみると、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」は男性の60～64歳（90.4%）が9割で高くなっている。

「農林水産物の品質や収量の低下」は女性の20代（80.4%）が8割で高くなっている。

「熱中症患者の増加」は女性の30代（61.7%）が6割を超え、女性の40代（59.4%）が約6割で高くなっている。

「水不足の増加」は女性の30代（61.7%）が6割を超え、女性の40代（57.9%）が約6割で高くなっている。（図表11－2）

<図表11-2>問題と感ずる気候変動による影響（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

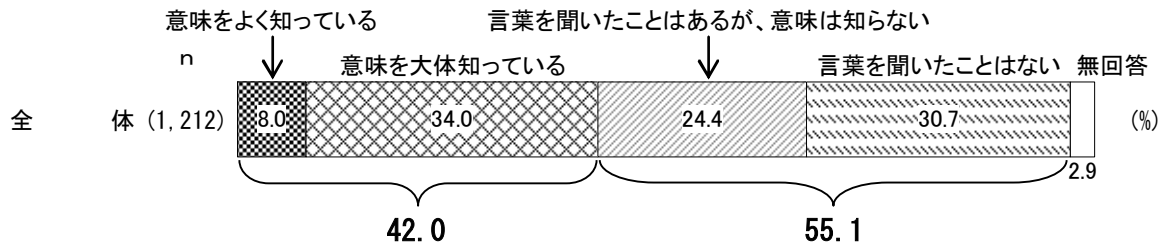


（2）「気候変動による影響への適応」の認知度

◇『知っている（計）』が4割を超える

問43 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。あなたは、「気候変動による影響への適応」について、どのくらい知っていますか。（○は1つ）

＜図表11-3＞「気候変動による影響への適応」の認知度



「気候変動による影響への適応」の認知度を聞いたところ、「意味をよく知っている」（8.0%）と「意味を大体知っている」（34.0%）を合わせた『知っている（計）』（42.0%）が4割を超えている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（24.4%）と「言葉を聞いたことはない」（30.7%）を合わせた『知らない（計）』（55.1%）は5割台半ばとなっている。（図表11-3）

【地域別】

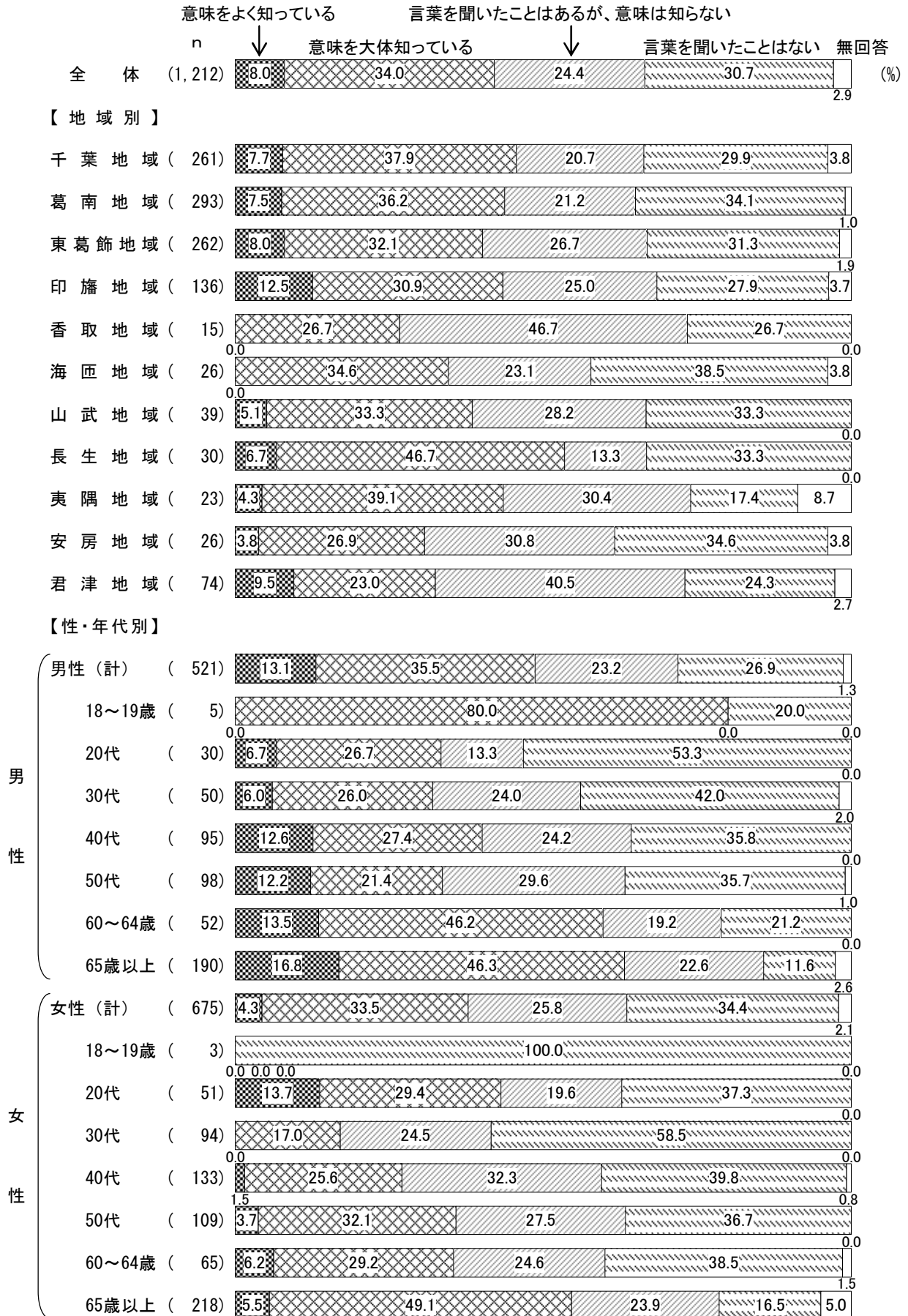
地域別にみると、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」は“君津地域”（40.5%）が4割で高くなっている。（図表11-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の65歳以上（63.2%）が6割を超え、男性の60～64歳（59.6%）が約6割、女性の65歳以上（54.6%）が5割台半ばで高くなっている。

一方、『知らない（計）』は女性の30代（83.0%）が8割を超え、女性の40代（72.2%）が7割を超えて高くなっている。（図表11-4）

<図表11-4> 「気候変動による影響への適応」の認知度／地域別、性・年代別



このほかに、「気候変動による影響への適応」やここまでの質問（問42～問43）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、69人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「気候変動による影響への適応」の自由回答（抜粋）

- 気候変動で災害が昔に比べ増加しているので、これ以上温暖化が進まないように1人1人が自然にやさしいエコバッグを持つなどして、温暖化が進まないように工夫していけたらなと思いました。（女性、20代、東葛飾地域）
- 家電製品を購入する時は必ず省エネ対応のものを買うようにしています。省エネ商品がもっと価格が下がればよいと思う。（女性、30代、葛南地域）
- 地球全体で考える問題で、企業はもちろん個人でもCO₂の少ないものを使用する必要がある。（女性、65歳以上、千葉地域）
- 水害などの自然災害に対して強い都市づくりを推進願います。（男性、40代、東葛飾地域）
- 日かげが多くできるような、まちの環境の整備などの夏の暑さ対応。（男性、40代、千葉地域）
- 排気ガスの軽減、太陽光・風力等の自然エネルギーの推進。（女性、65歳以上、千葉地域）
- 最近は何年か気候変動による災害が増えていると思っている。（男性、65歳以上、印旛地域）
- 気候の変動が大きいので体がついていけない。森林をふやしたらいいのかな。（女性、60～64歳、夷隅地域）
- “適応”できるのが人間なので、なんとか適応していければと思いますし、個人宅でできることがあれば啓蒙活動をお願いしたいです。（男性、30代、東葛飾地域）
- この点については、千葉県主導というより、日本全体を巻き込んでいかないと、間に合わない状況に突入していると思います。ぜひ、国に発破をかけて頂きたいと思います。（女性、50代、東葛飾地域）